

6年生 「6 資料の調べ方」③

4月 日()

準備するもの：教科書・ノート

1 教科書P75を開きましょう。

学習のめあて

記録の特徴を表す値について調べよう。

2 学習のめあてをノートに書きましょう。

3 教科書P75の1組のドットプロットを見ましょう。

4 1組の記録の中で、ちょうど真ん中の人の記録を調べましょう。

5 次の文章をノートに書きましょう。

資料の値を大きさの順に並べたとき、ちょうど真ん中の値を
ちゅうおうち
中央値 といいます。

6 資料の数が偶数のときは、真ん中2つの値の平均を中央値といいます。

• 1組の中央値は、14番目の⑳と15番目の㉑の記録の平均だから、

1組 中央値 m

• 2組の中央値は、13番目の㉒と、14番目の㉓の記録の平均だから、

2組 中央値 m

• 3組の中央値は、14番目の記録だから、

3組 中央値 m

7 それぞれの組のドットプロットを見て、いちばん多い記録を調べましょう。

8 次の文章をノートに書きましょう。

資料の値の中で、いちばん多い値を
さいひんち
最頻値 といいます。

9 それぞれの組の最頻値を書きましょう。

1組 最頻値 m

2組 最頻値 m

3組 最頻値 m

10 次の文章をノートに書きましょう。

平均値、中央値、最頻値のように、資料の特徴を表す値を
だいひょうち
代表値 といいます。

11 1組、2組、3組のドットプロットや代表値を比べて、どの組の記録がよいといえるか、自分の考えをノートに書きましょう。

12 ノートに今日の学習のふりかえりを書きましょう。

～わかったこと、大切だと思ったこと、疑問に思ったこと、次にやってみたいこと～ など

13 教科書P77下の「目的にあわせた代表値の値の利用」を読みましょう。